

2019年6月24日

各 位

人工光型自動化植物工場「テクノファーム成田」着工について

当社（社長：大田 勝幸）100%子会社であるJX ANCI株式会社（社長：庄中 淳、以下、「JX ANCI」）が出資するJリーフ株式会社（社長：上原 淳、以下、「Jリーフ」）は、本日、国内最大規模の人工光型自動化植物工場「テクノファーム成田（※1）」の建設工事に着工しましたので、お知らせいたします。

Jリーフ（2018年7月設立）は、植物工場の建設・運営に豊富な実績を有する株式会社スプレッド（社長：稲田 信二、以下、「スプレッド」）とフランチャイズ契約を締結し、食の安全・安定供給に資する事業展開に向け、検討を進めてまいりました。

このたび、Jリーフが建設する人工光型自動化植物工場は、スプレッドが開発した『Techno Farm™（※2）』を導入し、工場内で植物生長に必要な諸条件（光量、温度、湿度、風速、栄養分など）を最適に制御しながら、栽培工程を自動化することで、安定的に高品質な野菜の生産を目指します。効率的かつ安全に日産3万株のレタスを栽培する国内最大規模の施設として、2020年末に本格稼働を予定しています。

当社は、最先端のバイオ関連技術のノウハウ・知見を深めることで、当社グループが保有する既存事業とのシナジーを創出し、「技術立脚型」の事業の拡大を進めてまいります。

※1 建設する人工光型自動化植物工場「テクノファーム成田」の特長

- ①栽培工程の自動化により省人化、衛生品質の向上、作業の標準化が可能
- ②単位面積当たり生産性が高い
- ③天候や土壌などの自然環境の影響を受けない
- ④水や肥料などの利用効率が高く省資源である
- ⑤虫害が発生しないため工場内で農薬を使用しない
- ⑥IoT技術を用いて、栽培データを効率的に管理できる

※2 『Techno Farm™』

スプレッドの登録商標

スプレッドのノウハウと技術革新を融合して生まれた次世代型農業生産システム

以 上

<工場完成予想図>



<工場内部イメージ図>



<Jリーフ株式会社の概要>

代表取締役社長	上原 淳 (うえはら じゅん)
設立年月	2018年7月
資本金	8,000万円
所在地	千葉県山武郡芝山町小池2700番72 (JX ANCI成田工場敷地内)
事業内容	人工光型植物工場における野菜生産・販売
出資比率	JX ANCI株式会社 68% 日新商事株式会社 32%

<建設する植物工場の概要>

所在地	千葉県山武郡芝山町小池2700番72 (JX ANCI成田工場敷地内)
敷地面積	約8,000㎡
栽培品目	レタスなど葉菜類
栽培規模	日産3万株
運転開始	2020年12月(予定)

<株式会社スプレッドの概要>

代表取締役社長	稲田 信二 (いなだ しんじ)
設立年月	2006年1月
資本金	8,740万円
所在地	京都府京都市下京区中堂寺粟田町90番地
事業内容	植物工場事業の運営・販売